

## グローバル時代の大学が果たす役割を求め 「世界水準の人材」育成を目指す立命館の挑戦。

時代のニーズを的確につかんで教学展開を行い、産学官連携や地域連携を強く推し進める学校法人立命館。立命館アジア太平洋大学の開設や海外の大学との提携などでグローバル人材の育成に努め、先進的な国際化に取り組んできた。アメリカの大学での研究経験も持つ長田豊臣理事長は、立命館の“真のグローバル化”を進めようと情熱を傾ける。目指すのは「これからの国際化社会を担える人材の育成」だ。立命館大学びわこ・くさつキャンパスを訪問し、関西経済の未来とも深く関わるその挑戦についてお聞きした。



学校法人立命館

理事長  
長田 豊臣氏

interviewer

頭取 大道 良夫

### 今日的な発展の中に生きる 受け継がれてきたリベラリズム

大道●「身を修めて以て之を俟つは、名を立つる所以なり」。勉学に努めて天命を待つのが人の本分を全うする道である。この孟子の教えにちなみ、明治初期からの政治家である西園寺公望公が私塾「立命館」を1869（明治2）年に創始してから145年、西園寺公の文部大臣時代に秘書官を務め、京都帝国大学の創設に関わった中川小十郎氏が1900（明治33）年に前身である夜学「私立京都法政学校」を開校してから114年。立命館大学を中心とする学校法人立命館は、長きにわたって我が国の私学教育界に大きな存在感を示してこられました。

長田■伊藤博文と共に議院政治の礎を築いた西園寺は20代で革命政府パリコミューンの統治下にあったフランスに渡り、10年におよぶフランス留学で自由思想と出会い、帰国後は自由民権運動に大きな役割を果たしました。一方、中川小十郎は明治維新の折、西園寺を助けた丹波の郷土の子息で、西園寺の「自由主義と国際主義」の精神を受け継ぎ、勤労者のために開いた「私立京都法政学校」を1913（大正2）年に「私立立命館大学」に改称。建学の精神「自由と清新」は、立命館の歴史の中で脈々と受け継がれてきました。

史の中で脈々と受け継がれてきました。大道●私の学生時代の記憶では、立命館大学といえば京都で最もリベラルな大学だったと思います。ヨーロッパの自由思想に触れた西園寺公の精神は時を超えて受け継がれてきたのですね。

長田■第二次世界大戦終結の年に法学者の末川博が総長に就任し、「平和と民主主義」の教学理念を掲げ、「立命館民主主義」と呼ばれる学園運営がなされてきました。民主主義には課題も多く、戦後日本のあり方についても評価が分かれるところですが、今こそ戦後民主主義の精神を柔軟かつ本質的に捉えることが重要だと考えています。

### BKC開設、APU開学と 果敢に学園改革を実現

大道●2004年の本誌対談で川本八郎



国際化が進むキャンパス(京都・衣笠キャンパス)

前理事長をお訪ねした際、「教育の機会均等のために授業料を長年据え置いたことが大学経営に影響した。大学自治を重んじたあまり社会との距離も生じた」と、貴学が70年代後半に直面された課題について語っておられました。経営立て直しのために、79年頃から大胆な改革に挑まれましたね。

長田■94年の「びわこ・くさつキャンパス」(BKC)開設も大きな改革のひとつでした。立命館が目指していた学園構想と滋賀県・草津市の大学誘致の方向性が折よく出会ったことから、多くの方々、とりわけ地元の方々のご協力を得て、BKCを誕生させることができました。

大道●殊に情熱を注がれたのが2000年に大分県別府市に設立された「立命館アジア太平洋大学」(APU)でしたね。アメリカへ留学するのが当然と考えていたアジア太平洋諸国の優秀な若者を九州に集



開設から20周年を迎える「びわこ・くさつキャンパス」(BKC)

めて、日本の国際化の拠点にしたい。そんな壮大なビジョンへの挑戦だったとお聞きしています。アメリカのプリンストン大学やコロンビア大学等での研究経験をお持ちの長田理事長にとって、「国際化」は最重要のテーマではないでしょうか。

長田■私も重視しているのは、グローバル化の時代から企業が国際化しはじけると、英語を話せる人材が求められるようになりまし。しかし、もはや話せるだけではグローバル人材とは言えないでしょう。「日本のビジネスマンは教養がない」と批判されることがありますが、現地の言葉が堪能になつても、世界の知的水準に追いついていないためにむしろ不勉強ぶりを露呈してしまうからです。だから海外でパーティーに参加しても日本人だけがかたまってしまう。壁は言葉だけではありません。本学が育てたいのは多様な文化的背景を理解できる人材、英語が話せて知識があるだけでなく、絶えず問題提起しながら新たな発想ができる人材です。

### 国際化への先進的な取り組みで 時代が求める人材を育む

大道●78カ国地域から学生が集まるAPUは世界を肌で感じられ、国際感覚を磨く絶好の環境です。留学生比率が現



メディアライブラリー(図書館)に併設された自由学習スペース「びあら」で、左より、図書館サービス課 中崎課長補佐、大道頭取、長田豊臣理事長

在43%に達していると聞いていますが、開学に際して、先生方や職員さんがアジア各地の高校へ学生募集に奔走された努力のおかげでしょうね。

長田 ■90年代の話になりますので、当時はパスポートを持っていない職員もかなりおりました。そのような者も含め、世界各地に飛んだわけです。その後、海外で学生募集を始めた他大学の方々から、「どこに行っても、先に立命館が来ていた」と言われました。大道 ●APU以外でも、多様な国際化に取り組まれています。貴学の文学部と中国の広東外語外貿大学、韓国の東西大学の学生が共同生活をしながらそれぞれ



スポーツ健康科学部の「トレーニング指導実習室」で伊坂教授から実践的な学びについての説明を受ける

の大学を巡って語学、歴史、文化、社会などを学ぶ「キャンパスアジアプログラム」もその一つですね。3カ国の学生が習慣や認識の違いを超え、理解を深めよう。そこからは、次代の架け橋が育つでしょう。長田 ■2012年から開始した「キャンパスアジアプログラム」は、日中韓の現在の状況もあり、特に注目いただいています。立命館の国際化の取り組みは、APU開学以前から始まっています。近年は、情報理工学部、政策科学部など、各学部毎の取り組みが活発になってきていることも特徴です。91年には、カナダのバンクーバーにあるプリティシユロンビア大学(UBC)のキャンパス内に学生寮を建設して、毎年100名規模の学生の派遣を開始し、ワシントンのアメリカン大学など留学先と本学の両方の学位を取得できる「デュアル・デグリー制度」にも取り組んできました。今や国際化を掲げない大学はない時代ですが、本学はどこよりも先進的にチャレンジしていると自負しています。

### 「大阪いばらきキャンパス」はアジアのゲートウェイ

大道 ●2015年4月、大阪府茨木市に開設予定の「大阪いばらきキャンパス」(OIC)では、「都市共創」「地域・社会連携」と共に「アジアのゲートウェイ」をコ

授と滋賀県のNPO、大阪のベンチャー企業が共同で取り組み、琵琶湖に堆積するヘドロを微細な気泡「ナノバブル」で浄化する実験に成功しています。こうした産学連携を促す仕組みの一つが、企業ニーズと研究者のテーマをマッチングさせる「テクノプロデューサー」の役割です。現在、15名ほどのテクノプロデューサーがBKCで生まれた技術を企業に売り込み、実用化に結び付けています。大道 ●生命科学部の久保幹教授が土壌の肥沃度を数値化する方法を開発された話題も記憶に新しいですね。その手法を用いて、栗東の競走馬の有機堆肥で改良した土壌から良質な酒米を栽培しているとか。今後も貴学との連携から多くのニュービジネスが滋賀に生まれますよう期待しています。長田 ■本学では2020年の学園ビジョ

ンセプトに掲げておられます。

長田 ■「21世紀が求めるグローバル人材像」の一つが、アジアの知性・感性をもった人材ではないでしょうか。現代文明の行き詰まりを感じるヨーロッパやアメリカでは、アジア的な知への関心が高まっております。OICではアジアの新しい研究拠点を構築しようと考えています。アジアへの視点が不可欠な経営学部や政策科学部等もOICへ集約し、海外大学との連携をさらに深めて大阪・関西とアジアを知の交流でつなぐ、アジアのゲートウェイを目指しています。

大道 ●関西の経済団体の懇談会で「関西をどう底上げするか」と話し合うことがよくありますが、首都圏にはない関西の強みは「アジアと地理的・歴史的に結びつ



2015年4月、大阪府茨木市に開設予定の「大阪いばらきキャンパス」(OIC)※

### 新たな視点と発想で社会のニーズに応える

大道 ●草津市にBKCが開設して今年で20年。教育研究資源を生かした産学官連携や地域連携に注力してこられました。かつては企業にとって敷居が高かった大学の門戸を、いち早く開放されたのが貴学だと認識しています。長田 ■企業との研究交流を促す「レンタルラボ」、構造分析や新材料開発等の先端施設を民間企業が利用できる「SRセンター」など、本学はかねてより産学連携を重視してきました。最近では、本学の今中忠行教

究者が主体となった取り組みです。BKCは、滋賀県発の産学連携による革新的なイノベーション拠点として発展していきたいと考えています。大道 ●貴学は常に社会のニーズに対応して未来を展望してこられました。その舵を執る長田理事長は文学博士の称号を持つ学究肌の方かと想像していましたが、常に本音で語られるダイナミックな人柄ですね。長田 ■ありがとうございます。これから世の中を担うのは、人とは違う視点から問題提起できる人間。新しい発想を生む人間。そんな、おもしろい人間の育成を目指していきます。大道 ●柔軟に時代に向き合う姿勢が立命館さんの持ち味。今後とも地域の発展にお力添えいただきますようお願いいたします。本日はありがとうございます。

ン「R2020」の一環として研究の高度化を目指しています。そのためにも、産学官連携にはさらに注力していく考えです。また、「環境」「エネルギー」「食料」「医療・健康」「人・生き方」など10領域を研究対象にした「立命館グローバルイノベーション研究機構」(RIGIRO)を08年に設立し、自然科学と人文社会科学が融合した新しい研究領域から「自然共生型社会の実現」に貢献できる成果を世の中に還元していきたいと考えています。先日、文部科学省のCOI(Center of Innovation)プログラムのトライアル拠点到本学から2拠点が採択されました。革新的なイノベーションを生み出す産学連携拠点の構築を目指すプログラムですが、2拠点とも、RIGIROで支援しているプロジェクトがベースとなったものであり、BKCの研究

## DATA



理事長

### 長田 豊臣氏(ながた とよおみ)

1938年生まれ。65年、立命館大学大学院文学研究科修士課程西洋史学専攻修了。93年、立命館大学文学博士。プリンストン大学客員研究員、立命館大学文学部教授、コロンビア大学・ニューヨーク市立大学客員研究員、立命館大学文学部長等を経て99年に学校法人立命館総長・立命館大学学長に就任。2007年、学校法人立命館理事長に就任。02年~04年に日本アメリカ学会会長を務める。

建学の精神  
「自由と清新」  
教學理念  
「平和と民主主義」

#### 【学園概要】

### 学校法人立命館

#### 【衣笠キャンパス】

京都市北区等持院北町56-1

■学部/法学部、産業社会学部、国際関係学部、政策科学部、文学部、映像学部

■研究科/法学研究科、社会学研究科、国際関係研究科、政策科学研究科、文学研究科、応用人間科学研究科、言語教育情報研究科、先端総合学術研究科、映像研究科

#### 【びわこ・くさつキャンパス】

草津市野路東1-1-1

■学部/経済学部、経営学部、理工学部、情報理工学部、生命科学部、薬学部、スポーツ健康科学部

■研究科/経済学研究科、経営学研究科、理工学研究科、情報理工学研究科、生命科学研究科、テクノロジー・マネジメント研究科、スポーツ健康科学研究科

#### 【朱雀キャンパス】

京都市中京区西ノ京朱雀町1

■研究科/法科大学院、経営大学院、公共政策大学院

### 立命館アジア太平洋大学

大分県別府市十文字原1-1

■学部/アジア太平洋学部、国際経営学部

■研究科/アジア太平洋研究科、経営管理研究科

#### 【プロフィール】

1869年 西園寺公望が私塾「立命館」を創始  
1900年 中川小十郎が「私立京都法政学校」を創立  
1913年 大学を「私立立命館大学」と改称  
1981年 広小路より衣笠へ学舎統合・一拠点化完成  
1994年 びわこ・くさつキャンパス(BKC)開設  
2000年 立命館アジア太平洋大学(APU)創立  
2006年 朱雀キャンパス開設  
2015年4月 大阪いばらきキャンパス開設(予定)



びわこ・くさつキャンパス

※OICパース図は2013年11月現在の検討段階のもので、防災公園(若倉公園)部分は、現段階の茨木市の計画を基に大学が作成したものであり、変更される場合があります。